

第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（第4回） 意見等一覧

資料2

※検討する、担当課と共有すると回答したものを抜粋。その場で回答したものは掲載していません。

No.	区分		該当 頁	発言 順	発言者	内容（抜粋）	会議内での回答（抜粋）
1	質問	成果指標	P49	2	柴崎委員長	ボランティアハウス（VH）は、実際にどれだけ増減しているのか。閉鎖もあるのか。94拠点から102拠点に増やすとなると、なくなる拠点もあることを踏まえて8拠点以上増やす必要があると考えられる。	・増減はすぐ答えられないが、現時点では97拠点となっている ・長く継続しているVHは担い手の高齢化が進み、休止や廃止になっている
2	意見	市民・地域の取り組み	P52	3	清水副委員長	「③孤独・孤立対策の推進」の市民・地域の取り組みで、「子育て世帯など、孤立するリスクが高い世帯に声かけなどを行い地域で見守ります。」とあるが、孤立するリスクが高い世帯として「ひとり暮らしの高齢者」も記載したほうが、全体的につながりがあるのではないか。	・あくまで一例として記載している ・意見を踏まえて追記する
3	意見	市民・地域の取り組み	P52	4	清水副委員長	「悩みごととは一人で抱え込まず、周囲の人や相談窓口相談します。」を「周囲の人や相談窓口につなげます。」等へ変えた方がよいのではないか。	・対象者本人目線となっているため、地域目線の記載を検討する
4	意見	成果指標	P55	13	清水副委員長	「法人間連携の参加法人数」に関するアンケートでは、参加したい法人が12あったため、目標数値を12、もしくは全法人の19にしていかがか。	・検討する
5	意見	市民・地域の取り組み	P63	8	清水副委員長	「興味のある分野の活動や親子で地域のイベントに参加します。」とあるが、参加させる工夫をどのようにするかという視点から、「親子で興味が持てるイベントを企画します。」等の表現にしていどうか。	・対象者本人目線となっているため、地域目線の記載を検討する
6	意見	市民・地域の取り組み	P65	9	清水副委員長	「福祉サービスに関する理解を深め、適正に利用します。」を「相談支援事業者等がサービスの情報を提供し、利用を促進します。」はいかがか。	
7	意見	具体的な取り組み	P68	5	小川委員	「No.37 配慮を必要とする子どもへの支援の充実」「No.38 配慮を必要とする家庭への支援の充実」について、ここ数年で配慮を必要とする子どもが非常に増加している。保育園から保護者に療育に通うことを提案しても、専門家ではないと言われ、納得してもらえないことがある。保育園や学校等にSSWが定期的に訪問し、保護者に助言するようなくみができるとよい。	・子ども施策の担当部局へ共有する
8	意見	具体的な取り組み	P68	6	小川委員	配慮を必要とする家庭への支援については、就学すると小学校に情報が伝達しない、その結果見守りが継続できないという懸念がある。情報共有する場を作ってもらえるときめ細かい支援ができるのではないか。	・事業を広げることなども含めて担当課と共有する
9	意見	具体的な取り組み	P68	7	小川委員	子育てするスキルがない保護者への支援もあるとよい。	・子ども施策の担当部局へ共有する
10	意見	成果指標	P71	1	土田委員	「90日以上欠席している児童生徒のうち、教育支援センターを利用した人数の割合」について、積極的なアウトリーチにより、数値を上げてはどうか。	・総合計画と整合を図った指標であり、5年後（前期計画終了時）に1/5の利用、10年後（後期計画終了時）に1/4を目指す
11	意見	具体的な取り組み	P73	14	五十川委員	福祉避難所の運営マニュアルの適宜見直し、要配慮者の把握等の内容であるが、実際に人工呼吸器を設置したり、電源が必要な方など、具体的な個別計画が共有されていない、能登半島地震では障がい児や避難所に行けない方が大勢いたことから、もう一歩踏み込んだ内容を掲載していただきたい。	・担当課と連携を密にしながら進めていく
12	意見	市民・地域の取り組み	P77	10	清水副委員長	「環境の変化などで困ったことがあれば、一人で抱え込まず、誰かに相談します。」を「困ったことがある人を見かけたら声をかけたり、話し相手になったりします。」にしていどうか。	・対象者本人目線となっているため、地域目線の記載を検討する
13	意見	市民・地域の取り組み	P77	11	清水副委員長	「健康づくりや生きがい活動を通して地域に仲間をつくれます。」を「地域での仲間づくりを推進します。」にしていどうか。	
14	質問	具体的な取り組み	-	12	土田委員	ひとり親家庭の中学生以下の子どもが夏休みの昼食や居場所に関する問題を目にする。各務原市ではひとり親家庭の対策を考えているか。高齢福祉に目がいきがちであるが、子どもの方にも力を入れて欲しい。	・策定作業中のこども計画や総合計画でも子どもの分野に力を入れていく方針であるため、担当課へも共有する
15	意見	具体的な取り組み	-	-	柴崎委員長	総合計画でも庁内の横串（連携）が重点とされている。そういった方針が見える記載があるとよい。	・特に関連性のある「制度の狭間にいる人への支援」に、庁内横断的な支援体制に関する記載を追記する

計画への反映方針・反映状況	
反映前	反映後
-	-
子育て世代など、孤立するリスクが…	子育て世代やひとり暮らしの高齢者など、孤立するリスクの高い…
別紙のとおり	
社会福祉法人間連絡会参加法人数 令和11年度目標値：10法人	社会福祉法人間連絡会参加法人数 令和11年度目標値： 12 法人
別紙のとおり	
別紙のとおり	
-	-
計画内の文章としては、「学校や子育て福祉などが連携して対策と支援に取り組む」で内包しているという認識。	
-	-
-	-
障がい者などの当事者同士による被災時の生活支援などの協議を通じて、福祉避難所の運営マニュアルの適宜見直しや支援体制の構築に取り組みます。	（略）…協議を通じて、 個別避難計画 や福祉避難所の運営マニュアルの適宜見直し、支援体制の構築に取り組みます。
別紙のとおり	
別紙のとおり	
-	-
p.8「重点プロジェクト3 制度のはざまにいる人への支援」支援体制のイメージを修正	
p.32「③制度のはざまにいる人への支援」様々な支援機関や団体と連携して…	p.32「③制度のはざまにいる人への支援」 分野に捉われず、行政の 様々な 部署や 支援機関、団体と連携して…

「市民・地域の取り組み」の記載について

※ 個人視点の記載となっているものを下記のとおり整理する。

No.	該当頁	施策の方向性	該当箇所	対応方針・修正案
1	P49	地域づくりの推進	自治会活動などの地域活動を正しく理解し、自身も地域をつくる一員としての自覚を持って活動に携わります。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
2	P51	地域包括体制の深化・推進	認知症サポーター・キッズサポーター養成講座等を通じて、認知症に対する理解を深めます。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
3	P52	孤独・孤立対策の推進	悩みごととは一人で抱え込まず、周囲の人や相談窓口に相談します。	課題を抱える人の視点となっているが、支援に繋がらないことで悩みを抱え込むことになっている可能性を鑑み、「 悩みごとを一人で抱え込むことがないよう、相談しやすい地域や環境づくりに取り組みます。 」へ修正。
4	P54	地域福祉団体間の情報共有ネットワークの強化	わがまち茶話会などへの参加を通じて、多様な地域関係者との情報共有や連携に取り組みます。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
5	P57	福祉教育の充実	福祉について学ぶ場や地域の集いの場に、積極的に参加します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
6	P57	心のバリアフリーの推進	家庭や世代間のコミュニケーションを通して、人を思いやる心や助けあう心を育みます。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
7	P60	福祉人材の確保及び育成	自分が身近でできることから地域活動に関わります。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
8	P61	ボランティア活動への参加促進	関心のある取り組みやできることからボランティア活動に参加します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
9	P62	高齢者や障がいのある人などの社会参加支援、活躍の場づくり支援	自身が支援の「受け手」となり得る一方で、「支え手」でもあるという意識を持って地域活動に参画します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
10	P63	若い世代の参加促進	興味のある分野の活動や親子で地域のイベントに参加します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
11	P65	各福祉分野におけるサービスの充実	福祉サービスに関する理解を深め、適正に利用します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
12	P66	効果的な福祉サービスの情報発信	正しい情報を得るため、信頼できる情報源から情報収集します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
13	P68	配慮を必要とする子どもや家庭への支援	子育ての悩みを一人で抱え込まず、家族や地域、相談窓口などへ相談します。	悩みを抱えている人の視点であるため、削除。 次の一文を「 子育ての悩みを一人で抱え込むことがないよう、 声かけなどで温かく見守ります。」へ修正（赤字・下線箇所追記）。
14	P70	権利擁護を必要とする人への支援	市民後見人となり、認知症や障がいなどで判断能力が十分でない人をサポートします。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
15	P73	災害時の要配慮者への支援体制整備	日頃から地域と交流を持ち、災害時に助け合える関係を築いておきます。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
16	P74	地域の防災対策の促進	普段から、隣近所の人と災害を意識した話しあいや地域の防災訓練に積極的に参加します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
17	P74	地域の防犯活動の支援	犯罪被害にあわないために防犯意識や知識を高めます。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
18	P76	自殺を未然に防止する体制の強化	ゲートキーパー養成講座の受講などを通して、ゲートキーパーの役割や必要性を正しく理解します。	地域福祉の担い手としての市民に求める姿として記載しており、修正なし。
19	P76	自殺リスク要因を減らすための支援	自分や身近な人だけで解決できない困りごとについては、躊躇せず、行政や支援機関の相談窓口を活用します。	困難を抱える人の視点となっているため、当該文章を削除。
20	P77	さまざまな世代や環境に応じた支援	環境の変化などで困ったことがあれば、一人で抱え込まず、誰かに相談します。	困難を抱える人の視点となっているため、当該文章を削除。 地域側の視点は「見守り活動やちょっとした声かけなどを通じて、自殺リスクが高い人の早期発見に努めます。」に記載済み。
21	P77	さまざまな世代や環境に応じた支援	健康づくりや生きがい活動を通して、地域に仲間をつくります。	地域側の視点に修正し、「 健康づくりや支え合い活動を通じて、心身の健康増進やつながりづくりを推進します。 」へ修正。